



春 夏 秋 冬

2016
vol. 4
季刊発行

eco 情報

「床下換気」

湿度の高い日本では床下の換気は必須アイテムです。日本中の住まいは床下が開いています。しかし一年中床下の換気は必要でしょうか。

冬、外気温が低く湿度も低いのであれば床下が開いていると冷気を取り込むことになり一階床の温度が下がり室温が下がる原因になります。湿度の低い冬は床下を開ける意味はありません。

当社では床下は春と秋に開けて空気を取り込み、冬は閉じ夏も湿度が高いので閉じています。床下を閉じた冬、玄関ドアの開閉が少し重くなります。これは気密が良い証明です。

一年中開け放された空間より季節により調整する究極の省エネです。



上：春と秋、床下の換気を開け空気を取り込む。



下：冬と夏、床下の換気を閉じ気密性を高める。

ワン ジャ 王家 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.004 「紅焼蝦（エビのネギ醤油炒め）」

中国では、お祝いの席でエビ料理は欠かせません。



材料（4人分）

エビ	400g
ネギ	半分
ニンニク	1かけ
醤油	小さじ2
酒	大さじ2
みりん	大さじ2
サラダ油	大さじ2
片栗粉	少々

- 作り方
- ① エビは殻つきのまま背ワタを取っておく。
 - ② ネギとニンニクは刻んでおく。
 - ③ プライパンにサラダ油をいれ、ニンニク、ネギを炒める。
 - ④ エビを入れ7割ほど火が通ったら醤油、酒、みりんを入れ強火で炒める
 - ⑤ 全体的にからんで最後に片栗粉でとろみをつける



* 三代目通信 *

大学生活も一年が終わり、楽しい春休み。

バイトに東京ディズニーランド、スノボ、

大阪USJと青春を謳歌中。

この模型が一年間の成果です。



ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央 2-6-3
☎ 048-561-6878
info@e-hous.co.jp
編集長：中田 新一

● web もご覧下さい
<http://www.e-hous.co.jp/>

医療と住まい

今年2月に品川のホテルで脳神経外科医・深谷賢司先生の著書「家族の健康を守る家」の出版記念講演会がありました。

1時間の講話はあっという間に終わる程とても素晴らしい心に響く内容でしたので、いくつか紹介いたします。

冒頭の紹介で11人家族と聞いたとき3世代かと思ったら、お子さん9人とご夫婦で11人とのこと。さらに9番目の子の出産の時は病院に間に合わず、自宅でも準備のない中で先生が取り上げたなど、こんなつかみから話がスタートで話にのめり込んでしまいました。

高齢化について65歳生きた人は女性で49%、男性の25%は90歳まで生きています。人生がどんどん長くなっているのが病気の予防をすることがいかに大切かというお話でした。

「ガン」の原因はタバコが30%食事が30%あります。ですからタバコをやめて運動と食事に気を付けましょう。

「家の中はよく人が命を失う場所。入浴死は交通事故死の4倍です。」
「脳卒中は季節の変化や日中の温度差の大きいときに発生します。だから室内の温度差をなくせばヒートショックによる事故を防げます。」
などなど家の中の危険については今までにも聞いた内容ですが、改めて気を付けなくてはいけないと思い知らされる1時間でした。

11年前に「ソーラーサーキットの家」を新築した先生、外断熱・二重通気によって内部の温度差がない「ソーラーサーキットの家」を選んだ理由当然の結果だと言う事を実感しました。

最後に先生は「医者にできることは限られています。食事や運動や温度差のない環境づくりは自己責任です」と結びました。先生の著書もとても分かりやすいので是非お勧めします。



イベント報告



平成28年1月31日に東京ビックサイトにて開催された「住まいの耐震博覧会と築地場外市場のバスツアー」。
30名を超すご参加ありがとうございました。



「住まいの耐震博覧会」



「築地場外市場を散策」

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！



OB report 訪問

小山建設で建てられた住まいを訪問し、今の住み心地等をうかがいました。

ソーラーサーキットの実際のメリット・デメリットから今後より良い家づくりをするためのヒントを見つけたいと思います。



羽生市にお住まいのN様ご夫妻

お客様インタビュー「羽生市N邸」

ソーラーサーキットの家を建て、あっという間に9年が経ちました。

弊社にご依頼いただいた当時は、長年経営していたガソリンスタンドの後継者がいないため廃業することになり、最後に自分たちへのご褒美として家を新築することにしたとの事でした。



ソーラーサーキット住宅。築9年。

—理想はどんな家

旦那さんは小屋裏の有効利用と吹き抜けのある家を希望。吹き抜けを造ることにより解放感と家族がどこにいても気配を感じることができるから。寒がりの奥様は、床暖房とおしゃれな空間を希望。

—住んでからの感想

三人の娘さんたちは皆家庭を持ち、何かというこの家に来るそうです。三人の婿さん同士もとても仲が良く、夜遅くまで酒を酌み交わし、みなさんこの家に来ることをとても楽しみにしているとのこと。



一年を通して過ごしやすい空間。



ソーラーサーキット特長。快適な小屋裏。

今は、この住まいが当たり前になってしまいましたが、たまに実家や友人の家に行くと灯油ストーブの臭いが鼻についたり、廊下やトイレの温度差に身振るいしてしまい、こんな家に住んでいたら病気になってしまうと思うようになりました。

最近の心配事は、小さいお孫さんが家へ来て走り回るのはいいけれど、おもちゃを振り回して床や家具を傷つけるのを心配してしまい、お孫さんの後ろをついて回るのはしんどいとの事でした。でも一番の楽しみは嫁夫婦と孫たちが喜んで家に集まってくること。

◇インタビューを終えて◇

先日は家を建てる予定のお客様を、お連れした時たくさんいとお話をしてくださりありがとうございました。お茶まで入れていただき、大変恐縮していました。



開放感のある吹き抜け

地元・羽生市での取り組み

「村君地区の観光マップ完成」

NPO 法人まちおこし・はにゅう市場が地域の意識調査を村君地区と相生町で行ったのが縁で、お互いに何かできないだろうかというので始まった”村君の野菜を相生町で売る月2回の朝市”。そして1年をかけ二つの地区が協力して進めてきた村君地区の観光マップ作り。村君地区の意識調査をした時、インフラが悪い、スーパーがない、病院がないと不満のオンパレード。

しかし、はたから見ると思数軒は多く残り、お地藏さんの数も多く、古墳も多く存在している。

こんな素敵などころは羽生の中でここにしか残されていないのに、もったいない。

まずは地元の人によさを自覚してもらい、そして多くの人に村君の良さを知ってもらおうとマップ作りが始まった。相生町が参加したのは、地元の人だけでは地元の良さがわからないし朝市を共同作業しているので意志の疎通も取りやすいと思ったから、そんな思いのこもった観光マップが出来上がりました。



月2回の朝市。村君の野菜を相生町で販売。朝市を通して共同作業をする事で地区同士で交流を深める。



マップの配布先については是非お問い合わせください。



の仲間たち

匠

わたしたちがいつもお世話になっている心強い匠たちをご紹介しますコーナーです。

▶ file no.004 (有) 田沼鉄工
田沼 弘義さん

PROFILE

生まれ：昭和37年
出身：羽生市



創業者の父は鍛冶屋からのスタート。

初期はタビの型抜きや金型や軍手の型抜き金型を作っていた。

それらをタビや軍手を作るプレス加工屋さんに取り組んでいたが40年前から建物にシフト。

二代目の彼は中学、高校と音楽にはまりバンドを組んで活動。家業を継いでからは仕事に追われていたが、近くにできたライブハウスに通ううちにJAZZにはまる。そのきっかけとなったライブハウス「てまり」でライブハウスのオーナー達のグループと月に1、2回ライブに参加。仕事では見せない輝いた笑顔を振りまいている。

子供はまだ小さいので5年前からキャベツダイエットで12kgの減量に成功、今も維持している。

夜の付き合いも積極的だが家庭を大切にすよき父でもある。